

New Creation Church in Kyoto since 1997

Miracles



2022年1月23日号 No.1294

正しい数え方！

主管牧師 藤林イザヤ

2022年の主題的御言葉として、詩編90.12を掲げました。京都中央チャペルオリジナルのカレンダーに記載しています。

「生涯の日を正しく数えるように、教えて下さい。知恵ある心を得ることができるよう」です。

この御言葉は、召天式において、よく用います。取り分け、昨秋は、大切なお二人を天に送りまして、より深く噛みしめることができました。1人は光希ちゃん、もう1人は西垣一也兄です。光希ちゃんは、生後6ヶ月という短い人生を駆け抜けました。しかも、脳の障害があるということで、ずっとしんどい状態が続いていたのです。光希ちゃんが癒やされ、元気に育つことを、ずっと祈り続けていました。が、天に帰りました。

西垣一也兄も、59歳で急逝されました。彼の生涯も、しんどい状態が続きまとうものでした。依存症がありました。精神障害がありました。身体の持病もありました。きっとスッキリした状態で、お過ごしになれた日の方が、少なかったでしょう。

このお二人を天に送り、一際、この御言葉が魂の奥深くに沁みてきました。正しく数えることを、改めて学んだからです。

正しく数えることの1つには、人生は死をもって完成する！という理解があります。はたから見れば、短い、もっと生きれたら……という思いがぶつつけられてきます。でも、人が死を迎えた時には、その貴重な人生は完成したのだ！！と受け止めるのです。完成したなら、それにとやかに言えません。

もう一つ、その理解に深まりが生まれました。死はいつ訪れるか、誰も分かりません。死をもって完成するのですが、それがいつ来るか分からないと、備えられません。いや、今日だったとは……思っていないませんでした……とうろたえてしまうことも起こるでしょう。すると、正しい数え方として、死への備えをする数え方があることに、気づいたのです。それは「今日完成する！！」です。毎日眠りにつきます。でも、それは死を持って今日を完成する！！ことなのです。すると、今日は今日で、未完成ではなく、完成した人生になる、のです。

毎日が完成、となりますと、今日死んでも悔い無し！！という生き方が現れます。それくらい、毎日、毎日、生きることに全力で取り組み、真剣に生き抜くのです。毎晩、床に就く時、ああ、今日も生き抜いた、ハレルヤ！と賛美できるのです。

2022年1月23日(日) 聖日礼拝 11時

主題 『愛に生きる!』

説教者：藤林イザヤ

聖書箇所 マルコ伝3.1-3

- 1 イエスはまた会堂にお入りになった。そこに片手の萎えた人がいた。
- 2 人々はイエスを訴えようと思って、安息日にこの人の病気をいやされるかどうか、注目していた。
- 3 イエスは手の萎えた人に、「真ん中に立ちなさい」と言われた。

<1-3節の内容>

主イエスは、また!会堂に入られて、律法を解き明かし、神の力強い御業を語られた!

→その会堂に、片手が萎えて動かなくなっていた人がやってきていて、主イエスが癒やしをするかどうか、訴える口実を得ようという悪意をもって見ている!

⇒安息日に治療をすることは、生命に危険がある場合を除いては許されないというのが当時の常識であった!

マルコ伝3.4-6

- 4 そして人々にこう言われた。「安息日に律法で許されているのは、善を行うことか、悪を行うことか。命を救うことか、殺すことか。」彼らは黙っていた。
- 5 そこで、イエスは怒って人々を見回し、彼らのかたくなな心を悲しみながら、その人に、「手を伸ばしなさい」と言われた。伸ばすと、手は元どおりになった。

6 ファリサイ派の人々は出て行き、早速、ヘロデ派の人々と一緒に、どのようにしてイエスを殺そうかと相談し始めた。

<3-6節の内容！>

主イエスは、敵対する者たちの悪意を察し、安息日になすべきことは、何かを問う！

→安息日であれ、隣人への奉仕、傷の癒やし、病の解放は常に求められるべきだ、という大原則を打ち立てる！

⇒これによって、隣人愛が、安息日の特殊な意義に勝る世界が開かれ、主イエスは、その愛が枯渇している現実に憤りを覚えて、手が動くように癒やしをなされた！

(メッセージ・ポイント)

① 周囲の見る目、評価に
動じない（ ）を持とう！

Cガガラテヤ書 1.10

10 こんなことを言って、今わたしは人に取り入ろうとしているのでしょうか。それとも、神に取り入ろうとしているのでしょうか。あるいは、何とかして人の気に入ろうとあくせくしているのでしょうか。もし、今なお人の気に入ろうとしているなら、わたしはキリストの僕ではありません。

② どんなことにも増して、
（ ）を愛して行こう！

Cカヨハネ伝 15.13

13 友のために、自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

【藤林邦夫師 3 分間メッセージ】 『霊的成人』 258

この前の成人式礼拝では、8名の20歳になった兄妹の前途の祝福を祈りました。その時、佐藤波映姉のお祖母様にあたる山下秀子さんが、出席して下さいまして、一句を詠まれました。

「聖堂に 愛浴びて 波映 成人す」

お茶もなさり、俳句も詠まれる方ですから、このようにして、喜びを表現して下さいました。

この間、PHPという教養雑誌に、松下幸之助氏の文章がありました。

「成人になると、あれもできる、これも許されると考えがちですが、逆に、これもしてはいけない、あれも、もう許されないと、考えな、いけません」
こう述べておられました。

大人になったから、もう子どものような甘えは許されないのだ、責任を持って行動しないといけません、それだけのことが、社会から要求されている、ということです。

なるほど、と思いました。つい若いから、と、自分を甘やかす気持ちが働くかも知れませんが、もう20歳を過ぎれば、そういう訳にはいかないのです。

湾岸戦争が始まって、アメリカの日本に対する目が、厳しくなっています。

ある政治家が、「アメリカの若者が50万人も中東へ、命がけで戦争に行っているのに、日本の若者がハワイへ、大拳ツアーで、遊びに行っている。こんなことを許しておいて、良いのか」と言っていました。

世界情勢とは無関係に、自分の楽しみを追求する姿勢は、甘えと言って良いでしょう。

先の佐藤波映姉は「将来海外青年協力隊に入り、開発途上国のために尽くしたいです」とヴィジョンを語っておられました。

与える姿勢で自分の生涯を考えるのは、クリスチャンの本質です。

聖書も「受けるよりは与える方が幸いである」(使徒言行録 20.35) と言っています。これを知っている人は、霊的に成人であります。

★今週の予定

23日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 誕生日祝福祈祷!

アバハウス大掃除 13:30-16:00

27日(木) BLD 祈祷会 19:30- アバハウス **安達隆夫師**

★礼拝のご案内

日曜日 教会学校・New Creation Seminar 9:15 アバハウス 3F, 4F

聖日礼拝 11:00- アバハウス

手話礼拝 11:00- アバハウス (第三週目の聖日礼拝)

支援礼拝 13:30- アバハウス

木曜祈祷会 19:30- アバハウス

★ 2022年1月の予定

30日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス **今井 久美子師**

★ 2月の予定

3日(木) BLD 祈祷会 19:00- アバハウス **和田絵理沙神学生**

6日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス

10日(木) BLD 祈祷会 19:30- アバハウス **宋 志雄師**

13日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス **加瀬宣雄師**

17日(木) BLD 祈祷会 19:30- アバハウス **和田力神学生**

20日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス **今井直喜師** 誕生日祝福祈祷!

24日(木) BLD 祈祷会 19:30- アバハウス **愼重煥師** (大分キリスト福音C)

27日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス **矢部光荣兄・愛子姉 証**

◆2021年1月20日のBLD 祈祷会出席者数 《合計26名》

◆2021年1月16日(日)の礼拝出席者数 《合計58名》

礼拝…25名 (Zoom)…18名 CSK…4名 支援…11名

京都中央チャペル (αβα - HOUSE)

〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町540

Tel: 075-229-3058 Fax: 075-229-3059

<http://www.chuochapel.com>

郵便振替 01090-3-52922 名義: 京都中央チャペル